愛知県議会議員

桜井ひでき

現場の声を
県政に!

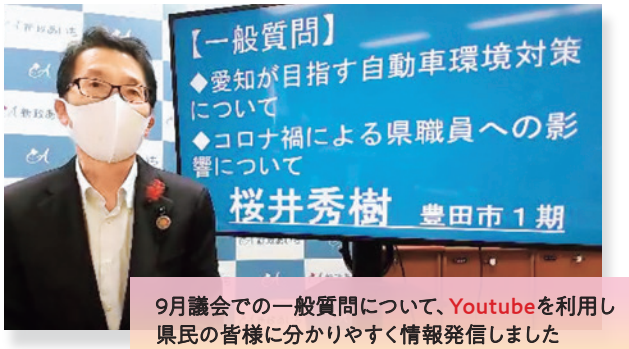
県政レポート

2022年1月
発行：桜井ひでき事務所
vol.12

message 新型コロナウイルスとの共存社会へ

明けましておめでとうございます

本年が皆様とご家族にとりまして
健やかな一年になりますようお祈り申し上げます



9月議会での一般質問について、Youtubeを利用し県民の皆様に分かりやすく情報発信しました

およそ2年前、新型コロナウイルス感染症が報告されて以来『コロナ禍』について何度取り上げたでしょうか。発生当時は我々の生活にこれだけ大きな影響を及ぼすとは多くの方が想像していなかったと思います。**コロナ禍の生活は長期化し、ウイルスも様々な変異を経て、我々が目指すものが『終息』から『コロナとの共存（withコロナ）』へと変化しています。**2022年は「壬寅」の干支が意味するように、皆さまの生活が希望に満ち溢れ、新たな成長を感じられる一年となりますよう、私自身もより一層、議員活動に邁進してまいる所存です。経済の活性化を図り、さらに元気な愛知となるよう、しっかりと政策を前に進めてまいります。

本年も変わらぬご支援・ご指導をお願い申し上げます。

TOPICS 1 委員会質疑をおこないました！

経済労働委員会のなかで2つの項目について、愛知県の考えを質しました。

質問1 令和3年度 一般会計補正予算

Q カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーの実現の可能性について調査をするとされているが、調査内容と活用について伺う。

答弁 この調査では、再生可能エネルギーを幅広く対象として、国内外の動向や本県の実態・課題等を調査。その中で有効な案件については、シミュレーション等の詳細な分析をおこない実現可能性について検討する。

桜井の意見！ 脱炭素に向けて産業以外にも多くの部署を巻き込む必要があることから全体を統括する部署が必要！

質問2 和歌山市の水管橋崩落事故から学ぶもの

Q 県内における、和歌山市と同様な水管橋の数と日常点検の状況と今回の事故を受け愛知県としてどのような対応をされたのか伺う。

答弁 企業庁が管理している水管橋は4か所あり、漏水の有無や構造物の確認を定期的に実施。今後は、ドローンを活用した目視点検に加えX線などの詳細な検査を実施していく。

桜井の意見！ 市町村でも同様に多くの水管橋を管理しており、情報の共有化も含め連携して取組むべき！

TOPICS 2

令和3年11月
定例議会

第5波を乗り越えコロナ禍との共存に向け議論する議会を開会！

代表質問

11月定例議会が11月29日(月)～12月16日(木)までの会期で開催され、自由民主党･新政あいちの2会派が代表質問をおこない、新政あいち県議団からは、政策調査会長である日比たけまさ議員(春日井市選出：3期)が登壇し、県政諸課題について県の考えを質しました。

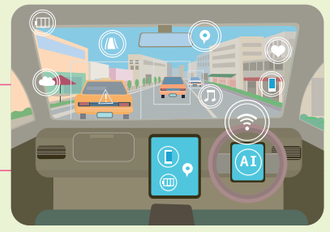
質問1　第5波の対応を踏まえた今後の保健所の役割について

代表質問する日比議員

Q　新型コロナウイルス感染症の第5波までの保健所の取組についてどう検証して次に備えていくのか伺う。

大村知事 答弁　新型コロナウイルス感染症の第5波では、過去最多の2,339人を記録するなど、これまでにない規模とスピードで感染が拡大した。このため、県保健所では、感染源の推定などを行う疫学調査や自宅療養者の健康観察、入院調整などの業務量が大幅に増加し、最大1日当たり180人の応援職員を配置し、保健所業務を支援した。しかしながら、**感染の拡大スピードが応援職員の配置より速かったため、配置するまでの間、保健所に過重な負荷が生じた。**今後、**様々なシミュレーションを行いながら、次の大規模な感染に備え何が必要なのかを検証し、保健所の機能強化を進め、次の感染拡大に備えた対策を講じる**ことにより、県民の皆様の生命と健康を全力で守っていく。

質問2　自動運転の推進に向けた取組について



Q　自動運転の推進に向け、本県が継続して取組む自動運転に関する実証実験の意義や課題について伺う。

答弁する大村知事

大村知事 答弁　自動運転の実現は、**自動車産業の振興はもとより、高齢者等の移動支援など県民生活の向上の面においても期待される**ため、県として先導的に取組を進めている。今年度は、シンガポールで実用化されている自動運転車両を取り入れ、名古屋市昭和区の鶴舞の幹線道路で、地域の移動手段として活用する実証実験をおこなったが植木込みの手入れ不足で止まることがあった。今後は、**歩行者等の安全確保策や悪天候における更なる走行性能の向上はもとより、交通事業者や地域の集客施設などをはじめ幅広いプレーヤーの連携**を促し、社会実装を見据えた、より先進的な実証実験に挑戦していく。また、**自動運転に必要な法改正等も含めて、国に要請していく。**

質問3　県警察における犯罪被害者支援の取組について

答弁する国枝本部長

Q　犯罪被害者に最初にかかわる存在が警察であり、県警察として被害者支援についてどのような取組を行っていくのか伺う。

国枝本部長 答弁　県民の皆様が犯罪に遭わないということが、まず大事なことであるが、**不幸にして被害に遭われた場合には、再び平穏な生活を営むことができるよう、社会全体で途切れのない支援を行っていくことが重要。**精神的被害回復については、**被害発生直後からその不安感を軽減するため、診療先への付添いや各種制度等の教示といったニーズに応じた支援活動を実施。**また、経済的負担の軽減について、**犯罪行為等によるご遺体の傷痕を目立たなくするための修復費用や性犯罪被害者への医療費の支援といった各種公費負担制度等を整備**している。今後も自治体や関係機関、民間支援団体と引き続き連携を図っていく。

主な議案について

一般議案では人事委員会から職員等における特別給の引き下げに加え、工事請負契約の締結･変更が上程されましたが、今回は補正予算の内容について紹介します。

1 新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）の大規模集団接種会場、県内6か所を開設。

接種会場	名古屋空港ターミナルビル（豊山町）	藤田医科大学（豊明市）	愛知医科大学メディカルセンター（岡崎市）	藤田医科大学岡崎医療センター（岡崎市）	JA愛知厚生連安城更生病院（安城市）	東三河総合庁舎（豊橋市）
開設期間 ※7月末まで延長予定	2022年1月24日(月)～7月31日(日)		2022年1月31日(月)～7月31日(日)		2022年2月5日(土)～7月31日(日)(土日のみ)	2022年2月7日(月)～7月31日(日)
接種規模（1日最大数）	1,000人	500人	(土日)500人 (平日)300人	500人	500人 (土日のみ)	400人
対象者	県内に在住、在勤、在学する者で、新型コロナワクチンの2回目接種から原則6か月以上を経過している者					

※詳細は愛知県ホームページを参照ください

2 コロナに関わる職員の処遇改善

○社会福祉施設で働く職員
介護事業所等の現場で働く方々の収入を3%(月額9,000円)引き上げます。
〈対象〉介護事業所、障害福祉サービス事業所で働く職員約13万人
〈時期〉2022年2月、3月

○看護職員
地域でコロナ医療など一定の役割を担う医療機関に勤務する看護職員の収入を1%(月額4,000円)引き上げます。
〈対象〉交付対象医療機関に勤務する看護職員約33,000人
〈時期〉2022年2月、3月

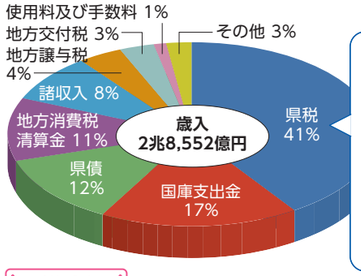
3 新型コロナウイルス感染症に対応するため、引き続き医療提供体制を確保

○重点医療機関患者受入体制確保推進補助金　確保病床 1,003床 ⇒ 1,735床
○自宅療養者配食サービス提供体制確保事業費　外食せず自宅療養に専念してもらうため配食サービスを実施及び保健所設置市への補助

令和2年度 決算について

令和2年度の事業成果を確認及び課題の洗い出しをし、現在策定中である令和4年度当初予算に反映させるための決算を認定しました。

歳　入

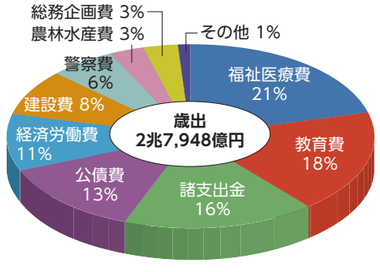


県税の内訳

県民税		
・個人	3,182億円	(＋ 66億円)
・法人	373億円	(△240億円)
・利子割	22億円	(＋ 3億円)
事業税		
・個人	146億円	(＋ 1億円)
・法人	3,022億円	(△227億円)
その他(地方消費税･自動車税等)	4,805億円	(△ 55億円)
合計	**1兆1,552億円**	**(△452億円)**

※カッコ内は対前年度の増減を示す

歳　出



総　括

○県税収入及び地方交付税が減少したものの、経費の節減や、新型コロナウイルス感染症の影響による不執行事業の補正減、県債を最大限活用した財源確保により、財政調整基金及び減債基金(任意積立分)の取崩しを全額止めた上で、**令和元年度に引き続き実質収支が黒字となった。**

●しかし、県の財政は、単年度の歳入だけで歳出を賄えない厳しい財政状況が続いており、基金を活用した2か年にわたる財政調整により対応している。令和3年度の当初予算においても多額の収支不足に対し、県債の活用や多額の基金の取崩しで対応している。

意見!
令和2年度において新型コロナウイルス感染症への予算4,519億円を計上し対応するなかで県民生活への影響悪化を最小限で留めました。一方でwithコロナ･afterコロナを見据えた将来の愛知県への投資もおこないました。

我々のなかま

参議院議員 浜口誠（はまぐち まこと）さんを紹介します！ Part 3

活動紹介 自動車産業における脱炭素化の推進について

■電動車の普及に向けた政府のインフラ整備計画

令和3年6月18日閣議決定「成長戦略実行計画」

	現 状	計 画
水素ステーション	166基	1,000基
急速充電器	7,893基	30,000基

➡ **カーボンニュートラル実現には国と地方の連携が大変重要です!!**

■カーボンニュートラル実現に向けた地方での取組み事例

【東京都の事例（一部）】

事業概要	ガソリンスタンドが水素ステーションへ転換　又は併設する際の工事期間中の営業損失支援
補助率	全額補助（上限500万円）
事業期間	令和3年度～令和7年度

■予算委員会、災害対策特別委員会で質問！！

【質問内容】

○電動車は**災害の際に避難所等の非常電源としても活用が期待**されている

○2025年大阪･関西万博までに**国･地方の公用車を全て電動車に切り替える対応を総理へ要請**

【前内閣総理大臣の答弁】

カーボンニュートラル実現のためには、電動車の普及、加速はまさに不可欠。**各省庁においても先ずは隗より始めよの精神で導入を進め初期需要の拡大に繋げることが重要**と考える。

※国が保有している全公用車に占める電動車の割合は19.8%（5,275台／26,655台）

【結果】

政府は来年度以降、**国が導入する公用車は全て電動車とする方針**を発表（8月4日）

はまぐち誠 公式サイトはこちらで検索

はまぐち誠　議員　検索

はまぐち誠チャンネル YouTube

日々の活動

10/18（月） アジア競技大会調査特別委員会 県内調査を実施

2026年愛知県で開催されるアジア競技大会の会場である下山地区愛知県総合射撃場を視察。

10/21（木） 全ト政策推進地方議員連絡会 知事要望を実施

カーボンニュートラルの実現を通した地域経済の活性化と魅力ある地域づくりに向け、大村知事に要望。

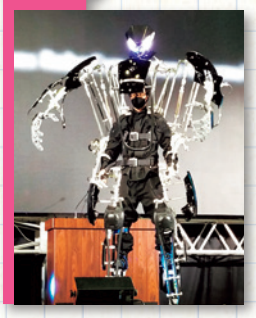
11/18（木） ユタカクラブ議員協議会 豊田警察署･豊田加茂建設事務所との意見交換会を開催

市内の犯罪･交通事故の発生状況と道路･河川整備状況について意見交換。

11/20（土） 三河上郷駅前広場 イルミネーション事業

初日の点灯式は行われませんでしたが、期間の延長やアート作品の設置など多くの人が楽しめる工夫がされています。

11/25（木） ロボカップアジアパシフィック2021 あいち開会式に出席



ロボットスーツの登場で開会式がスタート。日本初の開催となった愛知から世界へ、ロボットの技術力と可能性を発信し、大いに盛り上がりました。

11/30（火） 次期統一地方選挙　愛知県議会議員選挙推薦決定

トヨタ労組の組織内議員候補者として推薦決定を受け決意表明をしました。

ホームページを是非ご覧ください ▶ https://sakurai-hideki.com/

発行：桜井ひでき事務所

〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1
TEL 0565-71-1555　FAX 0565-29-0274